

# 絵本だいすき!!の会

教会学校の活動の一環として 2003 年の 9 月に、地域の若いお母さんを対象として、教会員も含め広く呼びかけて発足した絵本読み聞かせの会、も 3 周年を迎え、その記念に子育て講座を企画しました。2006 年 10 月 17 日に教会で行われた講演会について、発足時より関わりをもつ稲津悠紀姉の報告です。

## 「絵本大好き!!の会」3周年記念講演(津守房江先生)



3 年前、熊谷先生御夫妻の提案で始められた「絵本読み聞かせ」の会、題して「絵本大好き!!の会」が、神さまによって祝され、守られ、たくさんの親子が集う会へと導かれ、今年 10 月 17 日には、3 周年記念講演を開催するまでになりました。講師は、津守房江先生をお呼びして行われました。

心配していた、講演中の保育は、たくさんの奉仕者の方々が与えられ(90, 80, 70, 60, 50, 40 代)、27 名の子供達がケガや事故もなく安全に過ごす事が出来、25 名のお母様方も津守先生のお話にゆったりと耳を傾ける時が得られ、講演後は、どのお母様も、優しく、あたたかな雰囲気の中で満足されたご様子でした。

講演会は、司会の川島正子姉のお祈りで始められ、次に、津守先生をお呼びすることになった経緯を関美穂姉が、昨年、先生のご講演を伺い、とても感銘を受け、是非「絵本の会」のお母さま方にも聴いてもらいたいとの思いをお話して下さり、先生の講演が始まりました。子どもの傍らにあって子どもも大人も成長すると



題して、育つとは、そばにいて立つ事で子どもの自我の成長を縦糸とするならば、横糸はそれを支えるたくさんの人々なのです。よい糸ばかりではなく、荒っぽい、切れやすい様々な糸によって、育っていき、0～5才位までは、特に、横糸のかかわりを強くしていくのが好ましく、また、縦糸は、まっすぐではなく、こんがらがり、挫折し、いろいろ感じながら、自分自身に気づき、そこから、人が見えてくるようになるのです。この時期は、親にとっては、非常にやっかいな時なのです。しかし、この縦糸の一番上にはいつも神さまの御手があり、守り、支えていて下さるのです。

子育ての大変な時こそ、親にとって一番いい時で、母親も自分自身を育てていく大切な時期でもあるのです。育てるのは一方的な事ではなく、相互的な事なのです。このように、先生は、暖かい、優しい口調で終始話され、先生の祈りをもってお話を終了し、その後、質疑応答の時をもちました。数名の方が、子育てで困っている点、自分自身の問題など、飾らず、素直に、ある人は涙ぐみながら質問され、先生はその1つ1つに丁寧に答えて下さいました。

講演後、お母様方は、子供達を受け取りに保育室に来られ、約1時間余り、お母さんから初めて離れた子供も大好きなお母さんの元へ無事に戻り、奉仕者もお母さんもホッ!!とした時でした。居心地の良さに熟睡してしまった子供も2、3名おりました。講演後の感想は、「教会っていいね」「お話しも良かったけど、保育も同じように良かった」「無料であんなに良い時を過ごさせてもらっていいのかしら」「とっても良かった」等の良い感想をあちこちで聞くことができ、続けてこのお母さん、子供達が教会につながってこられる様、祈っていきたいと思います。

先生を囲んでの昼食を用意して下さった婦人会の皆様、この会のために真剣に祈って下さった教会員お一人おひとりに心から感謝しております。

(稲津悠紀 記)



(Nov,3rd.2006 Updated)